

社会福祉法人
北ひろしま福祉会

夷 62

vol.62

エゾエンゴ・サク

蝦 援護 咲く

新年度を迎えるにあたって

令和元年度計画された全事業計画を、無事に終わることが出来ましたこと、関係各位の皆様にご心からお礼申し上げます。

新型コロナウイルスが中国で発生した事を発端に、瞬く間に日本にも上陸し北海道でも多くの感染者が出てしまいました。北海道、北広島市から、利用者さんへの対応方法についての通達に基づき、当法人組織内にあります施設危機管理部が中心となり、事業毎に対応策を共有してまいりました。各事業所の所長はじめ職員の対応・対策に心から感謝している次第です。

昨年4月から新しい法人理念“わたしたちは、すべての人の幸福のために地域福祉を推進する役割を担います。”を实践してまいりました。また、昨年10月には法人創設70周年を迎えることができました。70周年を迎えるにあたり、理事会の承認を経て記念式典を取りやめ、「法人の全職員が記念となる70周年にしよう」と常務理事を先頭に様々な事業に参加しております。その1つに、職員の公募で選ばれた70周年ロゴマーク入りのTシャツを着て札幌ドームで開催された「ほっかいどう大運動会」への参加であります。新年度を迎えるにあたり、4月1日に新卒者9名と中途採用者4名の13名の職員が法人の新しい仲間として勤務します。先輩方から多くの事を学びながらも利用者の皆さんから頼られる福祉職員として成長してくれることを願っています。

職員一同、地域に根差した施設運営・施設づくりを目指していきますので、変わらぬご指導・ご協力を北ひろしま福祉会にお願ひ致します。

北ひろしま福祉会 理事長 渡邊憲介

ほっかいどう大運動会

2020年2月15日(土)、札幌ドームで開催されたほっかいどう大運動会に70周年記念のイベントとして法人から24名の職員が参加しました。アジャタ(スポーツ玉入れ)、スタジアムラン・リレー、大縄跳びに参加し、職員同士楽しい時間を共有しました。普段なかなかやらない種目もあった中、チームでいろいろ作戦を練り挑戦したものもあります。結果は残念ながら3種目とも決勝トーナメントに進むことはできませんでしたが、みんな笑顔で終わることができました。来年参加するチャンスがあれば、決勝トーナメント進出を目指して頑張ります！



第37回全国社会福祉軟式野球大会 準優勝

令和元年9月25日・26日に第37回全国社会福祉軟式野球大会が開催され、全国の福祉従事者による予選大会を勝ち抜いた16チームの猛者たちと対戦しました。

当法人の北広島エルフィンズは初出場でしたが、広島県代表、秋田県代表、兵庫県代表と戦い、初出場ながら決勝への切符を手に入れました。

決勝戦の相手は、同じ北海道代表対決となりました。善戦むなしく10-4で敗れ、準優勝でこの大会を終えました。

この大会でなにより強く感じたのは、チーム一丸となり、出場選手もベンチメンバーも関係なくONE TEAMで戦い抜けたことです。施設では味わえない体験や経験、他法人とも交流ができる環境を与えてもらったことは、“チームに関わる全ての人たちの協力があつたからこそ”。そのことをしっかりと胸に刻み、参加メンバー一同、今後に活かしていきたいと思います。



みつろうキャンドル製作

北広島デイセンターでは、多くの支援を必要とする方々の日中活動をさらに発展させていくために、今後どうしていくべきかを日頃からよく職員同士で話し合っています。“もっと社会に参加したい”とか“社会に通用するものをつくってみたい”など、たくさんの意見が飛び交っていました。そんな中、出会ったのが“みつろう”という材料でした。蜜蜂が自分の身体から蜜を出し、はちの巣を作り上げているという神秘的なストーリーと実際の蜜蝋の美し

どんぐり



ティーライト



まる

ストライプ

木 コップ型

りんご

い黄色に衝撃を受け、2016年からものづくりチームを立ち上げ、みつろうキャンドルをつくり始めました。大切にしているのは、利用者さんの主体的な参加と労働の追究、地元企業との連携、積極的な社会参加です。これからもイベント参加などを通して、作業に関わる喜びを感じられたり、力を存分に発揮できる活躍の場をたくさんつくっていききたいと思います。

年末年始イベント

グリーンパーク北ひろ

グリーンパーク北ひろでは、「みんなの会」という入居者が主体となり、イベントを企画する活動があります。昨年のグリーンフェスティ



バルでは、かき氷やたい焼き、フランクフルトなどを提供するお店を出店しました。年末年始は、忘年会、初詣&お寿司の食事会、温泉&焼肉の3つのイベントを企画しました。参加者の皆さんからは、「おいしかった!」と次を楽しみにする声が多く聞こえました。令和2年2月には「総会」としてボーリング大会と食事会を企画しました。参加した皆さんは、ボーリングも食事も楽しんでいらっしゃいました。



共栄

共栄では、クリスマス会を北広島クラッセホテルで、お正月の餅つき大会を施設内で行いました。クリスマス会では利用者さんと保護者の皆さん、そして職員で、料理や催し物を楽しみ、餅つき大会では、なかなか普段活動に参加が難しい方も一緒に楽しませていました。



とみがおか

とみがおかでは各パートそれぞれでクリスマスを楽しむ企画をしました。写真はBパートのクリスマス会の様子です。このパートはクラッセホテルでご家族をまじえた食事会を開催しました。当日はサンタさんからのプレゼントもあり、利用者さんもお家族もお腹いっぱい召し上がり、楽しんでいただけたようでした。



特別養護老人ホーム東部緑の苑



餅つき



昨年12月26日・27日・28日の3日間で各ユニットの餅つき会を行いました。昔を思い出して一人ずつ力強くお餅をついてくれました。つきあがったお餅は、皆様に丸く形を整えていただき、各ユニットに飾る鏡餅になりました。



福

豆まき

2月3日に東部緑の苑に3体の鬼が現れました。各階に現れた鬼に向かって入居者様が豆を力強くぶつけて見事に鬼を撃退。そのあとは、落花生や甘納豆を食べて自分の中にいる鬼もしっかり撃退しました。



人と地域と未来へつなぐ

つなぐは2019年4月に開設した北ひろしま福祉会では一番新しい事業所です。つなぐという事業所名の由来は、子ども一人ひとりの将来へ向けてたくさんの人や社会がつながり、子どもにとって希望に満ち溢れた将来へつながるようにとの想いを込めました。

つなぐでは障がいのある子どもたちが自尊感情を育てながらのびのび安心して過ごすことのできる居場所づくりをすすめています。子ども期にしか味わえない、もしくは子ども期にこそ必要な遊びや社会体験、地域との交流を積極的に組み入れ、地域で豊かに生きていく力を育む活動を行っています。平日は小集団の活動と一人ひとりに合わせた活動を行い、長期休みや土曜日にはご家族を招いてバーベキューやクリスマス会を開催したり、子ども達がとっても楽しみにしているプール外出などを行っています。

開設当初はどんな子が利用してくれるのか、ハラハラドキドキしていました。いざ利用し始めると子どもも職員も慣れない環境の中でしたが、子どもたちが過ごしやすい環境作りや活動の内容を職員同士で話し合い、チーム一丸となって1年間進めることができました。

その結果、子どもたちがつなぐに行くことを楽しみにしているということを学校の先生やご家族からお話を伺うことがあり、1年間事業を進めてきたことが身を結んでいることを今まさに実感しています。

これからもたくさんの人をつなげられるような活動を療育の柱にしながら、子ども達の笑顔があふれる事業所を創っていききたいと思います。



第60回施設開放事業

施設開放事業は、市内の障がいのある方に社会参加や体験の場を提供することを目的として、北広島市の補助を受け、北ひろしま福祉会が地域貢献の一環として施設等を開放し実施しています。



第60回施設開放事業が12月25日(水)～27日(金)の日程で開催されました。

1日目は小中学生を対象に、ふれあいステーションほっとで行いました。午前にはランタンとクリスマスツリーを制作し、昼食は彩り豊かな料理を食べました。午後は正月に向けて餅つきをし、ボランティアさんのダイナミックな杵さばきに、「よいしょ！」という元気な掛け声が響き渡りました。お餅は鏡餅にしてお土産になりました。



2日目は選択外出で、1組目は長沼町にてデコレーション箱作り体験をしました。ボンドやトンカチを用いて、桐の木箱を組み立て蓋にお花やロケットなどを描きました。完成品を手にとると、皆さんとびきりの笑顔になっていました。2組目は小樽市にてジェルキャンドル作り体験をしました。思い思いの小物を組み合わせ、世界に一つだけのキャンドルができました。試行錯誤を重ねて出来た作品を見て、「キレイだね！」といつまでも眺めている方もいました。



3日目は毎回人気のプール企画でした。恒例のガトーキングダムでしたが、利用客が少なかったこともあり、広いプールをのびのびと満喫したり、ウォータースライダーを何度も滑ったりと大満足された様子でした。今回の参加者は52名で、後日いただいたアンケートでは“これからもぜひ続けてほしい”“また参加したい”等、今後の励みとなる感想が多数ありました。また、全日程で大勢の学生ボランティアさんのご協力もあり、とても賑やかな時間となりました。次回も参加する皆さんの素敵な笑顔が見られるよう、実行委員一同、色々企画していきます。



災害に強い法人を目指して

胆振東部地震でのブラックアウトは利用者さん及び職員も大変な経験をしました。そこで対策として「東部緑の苑」にしか設置されていなかった非常用発電機を「とみがおか」、「共栄」にも設置しました。これで電源供給がなくなっても生活ができます。また、法人本部にも非常電源回路工事を行い、必要に応じて地域の皆様にも対応できるように検討を進めています。



日々の安全対策としては、交通事故防止を目指しドライバーズチェック(安全運転診断)を全職員に実施、運転注意を行っています。また、通所施設の送迎車にはドライブレコーダーを装着しました。法人として利用者さんの安全、職員の安全を目指し今後も取り組んでいきます。



ティーボールに参加しました

北ひろしま福祉会は毎年「赤い羽根」ティーボール北の甲子園記念大会北海道知事Cupを応援・競技参加しています。今年度も12月1日(日)に札幌ドームで開催され、参加した2チームは、日ごろの練習の成果を存分に発揮しました。





地域貢献推進部 2019(令和元)年度の活動

地域福祉の向上、まちの活性化に向け活動をしてきました。



地域福祉を推進する事業

・夏休み親子昆虫採集(8/6)



・みんなde食堂(親子編8/24・11/9) ・芋煮会&よろず相談会(12/21)



・市民公開講座の開催
(10/15 暮らしの中にスポーツを)



・地域出前講座(8/11老人クラブ朝日会)

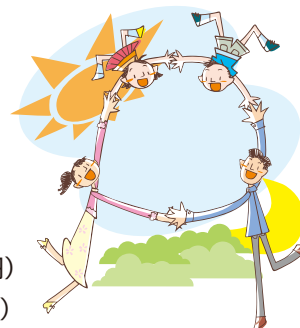
・勇太鼓演奏・太鼓教室
(奏会や教室など年間約30公演)

・むかわ町復興ボランティア派遣
(延べ7日間14名)

・物品貸出(テント 椅子 テーブル) 13団体

・義援金募集活動(11/20~12/3
台風15・19号被災施設義援金 50,000円)

・ふれあいステーションほっと(事務局員常駐)



北広島市社会福祉協議会への協力

・介護体験ボランティア
(7/18)



・グリーンフェスティバル売上金寄付
(9/17)



・療育キャンプ派遣(7/13・14)



ライオンズクラブへの協力

・ライオンズ記念植樹(5/26)

・ふるさと祭り設営撤去、販売応援(8/3・4)

・公園および植樹整備



東部地区生涯学習振興会への協力

・地域防災講座(5/26、2/1)

・ソフトボール交流会(9/7)

・クリスマス会装飾および太鼓出演(12/15)



北広島市観光協会への協力

・北の酒まつり(7/13・14)

・東広島市交流事業(10/12・13)

・イルミネーション設置(12/7)

・ふれあい雪まつり(2/1・2)



北広島市スポーツ推進委員会への協力

・元気フェスティバル体験会運営(8/25)

・各種大会運営協力(3回)



[illegible]

北で広がる、夢がある  **BASEBALL** 熱い想いを日ハムへ！ 一緒にファンズ！ 北ひろしま福祉会も応援しています！

寄附一覽

● 北海道しんきん ひまわり財団	● キョウシツメイトソフト株式会社	● 新太平洋建設	● ホクシンサービス
● 中山設計事務所	● ふれあい保険工房	● 三建サービス	● 北洋ビル管理
● えぼっく	● 山田石油	● ワタキューセイモア	● 帝国セリティー
● 新しのつ幸生園	● オートパル	● キリンビレッジ	● メディカルスカイ
● 新篠津 ふれあいの苑	● 北海道消防機材	● 北広島メタルクリニック	● 日本栄養食品
● 札幌報恩会	● 北広島クラッセホテル	● ウエシマコーヒー	● 三菱ビルメンテナンス
● アクト調剤薬局	● クレオトラベル	● 明円ソフト開発	● ホンダカーズ
● コカ・コーラ	● 戸田建設	● 藤山建設	● つつら

今 後 の 予 定

施設開放事業

編 集 後 記

今後も地域に根差したサービス展開、法人に関わるすべての人の幸福のため、活動していきたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

法人窓口

honbu@kitahiro-fukusikai.or.jp